



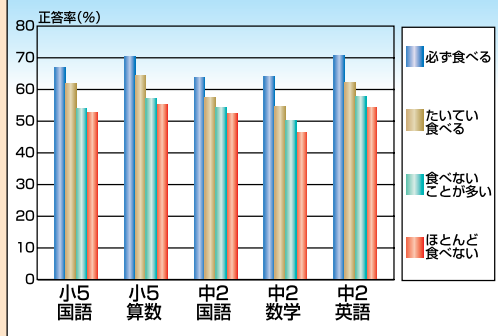
資料

食育は、知育・徳育・体育を支えるとともに、子どもたちへの理解も一層深めることができます。

食と知

毎日朝食をとる子どもほど正答率が高くなっています。

朝食摂取と学力との相関

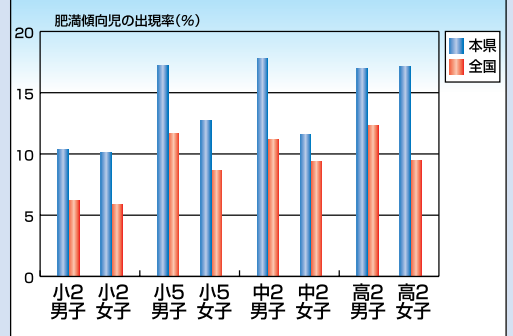


H17県教委「学力調査研究事業報告書」より

食と体

本県の肥満傾向児の出現率は全国平均を上回っています。

児童生徒の肥満傾向

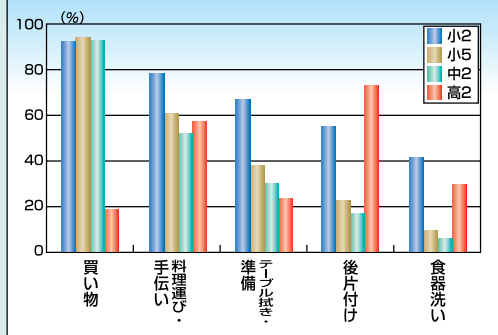


H18学校保健統計調査より

食と徳

低学年ほど手伝いをする傾向が見られます。一般的に手伝いをする事で道徳心等が身に付くといわれています。

手伝いの内容

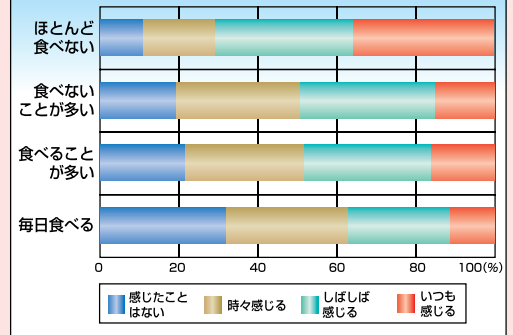


H18県教委食生活実態調査より

食と心

毎日朝食をとる子どもはとらない子どもに比べイライラする割合が低くなっています。

朝食摂取とイライラ感との相関

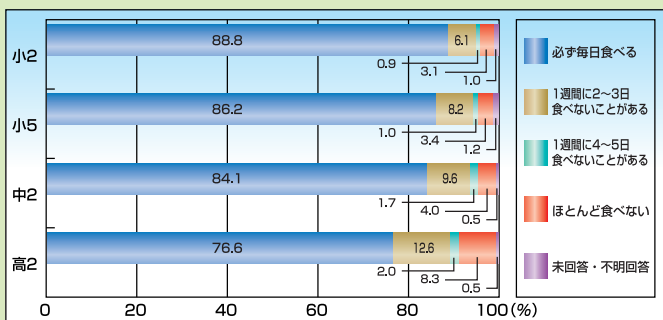


H17学校給食会「学校給食の残滓に関する調査研究会集録」より

朝食の摂取率と孤食の実態

朝食摂取の状況

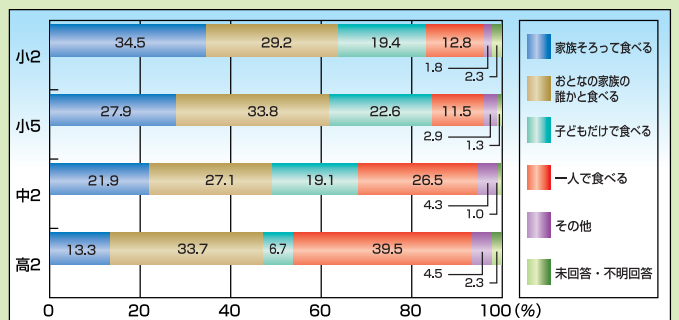
朝食の重要性を理解し、望ましい食習慣を形成することが大切です。



H18県教委食生活実態調査より

朝食をともに食べる家族

学年が進むにつれ孤食が増加する傾向にあります。できるだけ家族とともに楽しく食事をすることが大切です。



参考文献等

「食を通じた子どもの健全育成のあり方に関する検討会報告書」
 「食事バランスガイド」……………厚生労働省
 「食生活指針」……………文部省・厚生省・農林水産省

「学校給食指導の手引」
 「食に関する指導参考資料」……………文部科学省

お問い合わせは…

教育庁教育指導領域健康教育グループ ☎024-521-7792